

令和6年6月20日発行

発行 笠間市社協宍戸支部
雨谷 高市
編集 宍戸支部広報委員会
印刷 大塩企画

笠間市社協 宍戸支部だより

手を組んで 福祉の町を 広げよう ー福祉標語入選作品からー



「こぶしの会」の皆さん

●支部長あいさつ●

大型連休に変化？

大型連休は何をしていましたか。特に、ご高齢の方々はいかがでしたか。私自身で言いますと、最近では、連休など人が多くなる時期はどうも旅行等は敬遠しがちです。それに、普段休みのとれない現役世代に迷惑をかけたくないという意識もあります。

さて、新聞情報によりますと、先のゴールデンウィークでは、ある大手旅行会社の予約数が前年と比べて三割も減ったということだそうです。ある航空会社でも二割減ということ。その要因にあげられるのが、宿泊料金（二年前の二倍以上）や航空運賃の高騰です。

この連休中は、観光地等に外国人観光客が殺到し、都会のデパートなどでは、高額な商品が飛ぶように売れ、また、高級料理店でも高級食材が惜しみもなく食されているという話題であふれていました。一般庶民としては、指を咥えて見ているしかありません。昔の日本人が世界各国で行ってきた光景が、今の日本で逆転現象が起こっているということなのでしょう。他方で、人気を博したのが、日帰りツアーと地域で行われた催事のようなものです。要は、「安近短」。多くの日本人は、海外旅行や観光地には、行きたくても行けないから、日帰りで近いところでもがまんしようということなのでしょう。

世界的に見ても、我が国は平和で、治安もいい。しかし、これだけでは、外国人には喜ばれても、日本人には総てがよいとは限らないのが今の日本なのだと思うのです。この三十年我が国では初任給がほぼ据え置き、非正規雇用が大幅増加、ここ数年は、極端な円安で物価高騰と、日本人にとって我が国は暮らしやすいなどと言えるべくもありません。

一昨年、何度か行っている県外のホテルに宿泊しました。コロナ助成金があるということで、割安になると考えていましたら、そのホテルでは、サービスに変更がないにもかかわらず、助成金の分を上乗せした料金に設定替えしていたのです。従って、支払った料金は助成金のなかったときと同じ。それ以降、料金設定は、そのままです。もうそのホテルには金輪際行きません。

再び新聞記事に戻りますが、大型連休の予定はというアンケートに「自宅で過ごす」との回答が、三十四パーセントとのこと。それが一番安全で、安いということなのでしょう。同感、同感。

令和6年度事業計画方針

笠間市社協宍戸支部は、笠間市で唯一活動の拠点である支部会館を有しています。当支部はその利便性を十分に生かし、青少年健全育成委員会、女性部、こぶしの会、広報委員会などの専門委員会が中核となり、子どもから高齢者まで幅広い事業を推し進めて参りました。

今後さらに、組織を充実し各関係機関、各種団体との連携を図り、宍戸地区の皆様の協力を得ながら、地域に密着した事業を推進して参ります。



4/20 代議員会



4/18 運営委員会

（支部役員）	
支部長	雨谷 高市
副支部長	小菅 栄子
会計	前嶋 晃司
書記	関 令子
監事	米川 雄一
顧問	柴倉 一男
顧問	横倉 一男
顧問	和沼 博美
顧問	根田 芳雄
顧問	伊東 勝男
顧問	中町 大田町2
顧問	松山 団地2
顧問	上町 大古山
顧問	旧陣屋 2
顧問	橋爪 2
顧問	旧陣屋 1

施策

- 1 地域住民とともに社協活動への理解を深め、会員の確保に努める。
- 2 区長会、民生委員・児童委員協議会及び高齢者クラブとの連携を図る。
- 3 笠間市社協との連携を強化し、他支部との交流を進める。
- 4 福祉推進委員の資質向上に資する研修会及び視察研修を実施する。
- 5 児童福祉事業の充実を図る。
 - (1) 小学校との連携を密にした学校事業への協力
 - (2) 子ども会、スポーツ少年団活動等への援助
 - (3) 地域の教育環境整備活動に協力
- 6 災害等発生時における地域への貢献に努める。
- 7 社協宍戸支部会館を会場とする「介護予防の運動・体操教室」に協力する。
- 8 各専門委員会の事業
 - (1) 青少年健全育成委員会
 - (ア) 青少年健全育成及び安心して住める地域を目指す「地区懇談会」の開催
 - (イ) 「小学生夏休みわくわく体験」の実施
 - (ウ) 宍戸小学校に対するサポート（そろばん学習）
 - (エ) 宍戸小学校読み聞かせボランティア活動
 - (2) 女性部
 - (ア) 高齢者を対象とした毎月1回の「配食サービス」を実施
 - (イ) 福祉意識高揚を目指した「福祉バザー」の開催
 - (ウ) 女性部員の特性を生かした「手づくり会」の実施
 - (エ) 資質向上に資する研修会及び視察研修の実施
 - (オ) 宍戸小学校に対するサポート（ミシン学習）
 - (3) こぶしの会
 - (ア) 「配食サービス」の宅配と、高齢者との交流活動の実施
 - (イ) 高齢者によるグラウンドゴルフ大会（年2回、宍戸地区高齢者クラブとの共催）の企画・運営
 - (ウ) 高齢者を対象とした市外研修会（自然観察会）の企画・運営
 - (4) 広報委員会
 - (ア) 「宍戸支部だより」第135号～第136号の発行
 - (イ) 研修会及び視察研修への積極的参加
 - (ウ) 広報関係諸団体との交流促進
 - (エ) コミュニティボードの企画・運営、維持・管理
 - (オ) 宍戸支部紹介ビデオの取材と作成・編集

宍戸小学校の思い出



松山 団地一
磯 真乃助



僕は、六年間過ごした宍戸小学校で、たくさんのお事を学び、たくさんのお友達と思い出を作ることができました。

入学した時、不安な気持ちが多かったけれど、先輩方や先生方が優しく接してくれて、楽しく生活できるようにになりました。二年生、小学校に慣れて、多くの友達と話ができるようになりました。

三・四年生の時、感染症が全国的に広がり大変な時期でしたが、それに負けず充実した生活を送りました。五年生、高学年の自覚をもち、相手の気持ちを考えて行動し、友達との仲が深まりました。六年生、延期になっていた宿泊学習に行きました。二日間、友達と様々な活動をし、『チーム六年』としての絆を、さらに深めました。

宍戸小で出会ったみんなの笑顔、これからは絶対に忘れません。とても元気で最高の仲間たちは、僕の一生の宝物です。

たずねてみたら

No.110

思い出の写真



11/10 高齢者向け料理講習



11/15 道路里親宍戸 宍戸小児童との花植え



10/29 宍戸地区高齢者クラブ輪投げ大会



2/3 飛龍神社の豆まき



2/15 配食活動



12/10 大田町宝会駅ロータリー花壇の手入れ



編集委員

羽生力 高橋武志 和田博美
安達正男 小川福子 青木恵子
木内久雄 (宍戸駅掲示板協力員)

地域ボランティアに

お知らせ欄

あなたの **カ** を

お貸してください



動画で～す



お問い合わせは、支部長 雨谷高市
☎ 080-2025-3896 が対応いたします

令和5年度秋の福祉バザー収益金について

地域の皆様のご協力により下記のとおり、収益がありましたのでご報告いたします。売上金は高齢者宅への配食事業等に活用していく所存です。



宍戸小福祉バザー	270,390 円
ふるさとまつり	71,125 円
冬の陣	21,430 円
旧陣屋夏祭り	10,230 円

合計 373,175 円

皆様のご協力に際し
深く感謝申し上げます。



支部長 雨谷 高市
女性部長 上沼みどり
スタッフ一同